

**映画** 社会福祉連絡協議会「映画鑑賞会」  
映画を通じ障がいへの理解を呼びかけ

社会福祉連絡協議会主催の「映画鑑賞会」が5月28日に開催され、金田隣保館に約100人が来場しました。上映作品は、聴覚障がいの人と共に生きる社会を描いた「ぼくが生きて、ふたつの世界」。会場では涙ぐむ様子も見られ、映画を通して聴覚障がいへの理解や共生社会を考える貴重な機会となりました。



↑上映を心待ちにしながら、共に生きる社会について思いを巡らせる来場者たち。

↓熊本地震で避難所の総括を経験し、目の当たりにした光景や教訓を熱く語る堀田講師。



**熊** 福智町防災講演会  
熊本地震の自助・共助と備えの大切さ学ぶ

町主催の「防災講演会」が6月19日に開催され、金田隣保館に約220人が来場しました。最強震度7の熊本地震を経験した堀田直孝さんが登壇し、実体験を元にした避難所の様子や日頃の対策の重要性について講演。来場者からは「自助・共助の大切さが学べた」「子どもにも伝えたい」との声が寄せられました。

↓「雨二モマケズ」の精神を胸に、鍛錬の積み重ねを大切にしている「蓮真會」。



**九** 福岡県硬式空手道選手権大会  
九州大会の切符を蓮真會の5人が獲得

「福岡県硬式空手道選手権大会」が5月17日にみやま市で行われ、蓮真會に所属する5名が好成績を残しました。準優勝に浦野結叶さん、浦野大叶さん。第3位に蓼原溜希亜さん、川上絵音さん、今川紫月さんが入賞。次の目標は九州大会、さらに大舞台の全国大会出場も視野に入れ、日々練習に励んでいます。

**介** 特別養護老人ホーム福智園「オープンイベント」  
介護は楽しい! 施設開放で思い伝える

特別養護老人ホーム福智園で、5月30日に「オープンホーム」が初開催されました。施設を一般開放し、最先端DXの体験会や介護技術ワークショップを通して魅力や理念を発信。職員の温かな雰囲気や「介護は楽しい」という思いに来場者が触れ、入居者も企画を満喫する中、それぞれが介護への理解を深めました。



↑29もの企画やブース、出店でにぎわう会場で、来場者が介護の楽しさを共有。



©きゅつきゅぼん/小学館

↑「福天」を添えた著者描きおろしのイラストをいただきました。読了後、いつもの景色が違って見えるかも。

**著** 「はらべこさんぽ」単行本発売  
著者初のコミックエッセイ始動

福智町出身の漫画家、きゅつきゅぼんさんの新作単行本「はらべこさんぽ」が6月12日に発売されました。おさんぽ大好きな著者が訪れた飲食店の成り立ちや原点を、どこか懐かしさを感じる温かなタッチで描いた本作。作中で福智町のお店も紹介されています。お店への丁寧な取材を通して掘り下げた店主達の「人生の味」に、胸が優しく満たされる一冊です。

**上** あがのグリーンフェスタ 2026  
上野焼と多種多様の植物がコラボ

「あがのグリーンフェスタ」が6月6日から2日間、上野の里ふれあい交流会館で開催されました。植物店とコラボした特別商品の販売に加え、多肉植物の寄せ植えや上野焼のろくろ・絵付、台湾茶席などの体験イベントを実施。県内の10店舗が出店し、花と植物との相乗効果で伝統的工芸品の新たな魅力を広く伝えました。



↑花と緑が彩る会場にグルメも華を添え、デジタルスタンプラリーも大好評。

↓黒土町長(後列右端)を含むB&G所管自治体の首長が直筆で協定書に署名。



**平** B&G所在市町村間で災害時相互応援協定を締結  
時から有事に備える連携体制を構築

北九州ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会総会が5月21日に佐賀県鹿島市で行われ、B&G施設所管市町が「災害時相互応援協定」を締結しました。福岡・佐賀・長崎・大分の27市町が災害時に物資提供や人員派遣などを行う協力体制を確認。平時からネットワークを構築し、支えあう重要性を共有しました。